

第6回 地域プランナー・コーディネータを認定

1. 地域プランナー・コーディネータの必要性

全国各地域において、地域活力の低下が顕著であり、Ecological Development（地域が連綿と引き継ぎ育ててきた自然資源、歴史文化資源、生活文化資源、人的資源、伝統技術などの地域資源を活かし、地域の主体性と地域資本によって、また、地域の多様な関係者の「共働」と他地域との連携によって、現世代の満足を充たしつつ生きとし生けるものすべての将来世代へ引き継ぎ得る地域をつくること）を実践していくことが必要となっています。

しかしながら、各地域においては、その実践を指導・支援する専門家が不足しており、地域資源の発見・評価と活用策づくりに参画・指導できる専門家(地域プランナー)、地域の人々の思いを引き出し、発展方向に向けての人々の合意を形成できる専門家(地域コーディネータ)を求めています。

2. 第6回地域プランナー・コーディネータの認定

2013年1月に認定試験を実施し、地域プランナー・コーディネータ12名、地域プランナー1名の計13名の合格を認め、3月2日の地域づくりシンポジウムの席上において、認定証を授与しました。

第1～5回認定の56名と合わせ、計69名が、各地域からの要請に基づき、地域づくり支援にあたります。

<認定試験合格者> (順不同/敬称略) 13名

地域プランナー・コーディネータ：

松田麻由子、真狩正光、沖津和也、古田明宏、金原薫、松川享史、木村正子、兵頭伸治
藤原明香里、小野田昌子、赤司研介、鈴木啓也

地域プランナー：小森瑞記

※第1～5回認定試験合格者・認定者

<第1回(2008年)認定試験合格者> (順不同/敬称略) 10名

地域プランナー：大塚徹、北紀英、竹村圭司、西尾明憲、坂東暹

地域コーディネータ：石井重徳、井上純子、氏田節子、立原定子、田谷征雄

<上記以外の認定者> (これまでの地域づくり実績から試験免除で認定/順不同/敬称略) 6名

地域プランナー・コーディネータ：村田武一郎、野口隆、松田幸夫、川村創、木村衛、阪口博明

<第2回(2009年)認定試験合格者> (順不同/敬称略) 11名

地域プランナー・コーディネータ：井ノ本直三、福田峰子

地域プランナー：今枝明、大濱卓、奥谷和夫、笹野義一、原田弘之、水田典男、安田智子、保元温

地域コーディネータ：的場晴夫

<第3回(2010年)認定試験合格者> (順不同/敬称略) 11名

地域プランナー・コーディネータ：

谷口幸嗣、北森義卿、神剛司、堀越正夫、今西弘子、野崎和生、榎本 恭一、山本徹、吉田遊福

地域プランナー：木戸崇之、平大輔

<第4回(2011年)認定試験合格者> (順不同/敬称略) 7名

地域プランナー・コーディネータ：

岡本胤継、小田明彦、村上秀夫、西久保智美、中谷みさこ、馬部久美、櫻井大輔

<第5回(2012年)認定試験合格者> (順不同/敬称略) 7名

地域プランナー・コーディネータ：

若林稔、城者定史、植田一宏、西尾陽平、前田展広、中西準、藤田和子、豊志正裕、矢倉芳夫
立松麻衣子

地域コーディネータ：河野倫子

第 6 回「地域プランナー・コーディネータ」認定試験問題

◆あなたは、次のどちらの認定を希望しますか？

1. 地域プランナー(→問 1・2・3・4・5(1)・6 に回答ください)
2. 地域コーディネータ(→問 1・2・3・4・5(2)・6 に回答ください)
3. 地域プランナー & コーディネータ(→全問に回答ください)

問 1. 地域づくりの定義を示し、その具体的イメージがわかるように、事例でもって、活動内容と成果を述べなさい(400～600 字)。なお、事例は、あなたが知っている地域づくり事例、あなたが関わった地域づくりのどちらでもかまいません。

問 2. あなたは、「地域の発展」とは、どのような状況が生じていることだと考えますか。その状況を 3 点示すとともに、その内容を述べなさい(400～600 字)。

問 3. 地域プランナー & コーディネータが地域づくり支援活動を行うにあたって、どのような事柄に留意しなければならないか。地域社会の特性を踏まえて 400～600 字で考えを述べなさい。

問 4. 地域プランナー & コーディネータは、地域の人々とともに将来像をイメージしつつ、地域に対して「構想・計画」を提案し、その実現に注力していく必要があります。その時に留意すべきことを述べなさい(400～600 字)。

問 5(1)あなたが知っている地域づくり事例やあなたが関わった地域づくりについて、地域資源を示した後、貴方なら、その資源をどう活用するのか、「地域プランナーの立場から」、400～600 字で述べなさい(単独の事例についてでも、複数の事例についてでも可)。

問 5(2)あなたが知っている地域づくり事例やあなたが関わった地域づくりについて、地域資源を示した後、貴方なら、その資源をどう活用するのか、「地域コーディネータの立場から」、400～600 字で述べなさい(単独の事例についてでも、複数の事例についてでも可)。

問 6. 地域プランナー & コーディネータとしての資格を認定された後に、①資格を活かす活動の具体的な方向性、②地域づくり支援機構の中での役割(脚注参照)または地域づくり支援機構の一員として取り組みたいことを、それぞれ 200～300 字で述べなさい。